

池田 殊理さん

いけだ しゅり

優秀賞

中条中学校 3年

夢



「I have a dream」

このキング牧師の言葉のように、私には将来叶えたい夢があります。それは、動物について研究する、動物学者になるということです。

まだ小学生になって間もない頃、私は祖父に動物に関する分厚い図鑑を買ってもらいました。表紙には大きなサメのイラストが力強く描かれていて、私の興味を引くのに十分なものでした。帰宅して早速見てみると、その図鑑には、見たこともない様々な動物の写真や特徴が、鮮やかに広がっていました。ダチョウやワニ、クマなど、迫力満点の姿を捉えたそれは、小さいながらも好奇心旺盛だった私をすぐに夢中にさせました。私達人間が住んでいる地球には、こんなに不思議で美しい生物が多様に広がっているのだということに、驚き感動したのを覚えています。それと同時に、もともと彼らについて知りたい、見たいという衝動に駆られました。それからは何冊もの図鑑を買い、長期連休には遠くの動物園や博物館に行くことも楽しみになりました。最初に買った図鑑は、自分だけでなく弟も一緒に読み漁り、そのうちボロボロになっていきました。

そして小学五年生になったある日、自分の将来の夢について考え記入するという時間がありました。その時までは、ただ動物が好きだけで仕事に結びつけて考えたことはなく、将来の夢についてもきちんとした考えは持っていませんでした。そこで私は、図鑑や動物園で見たよ

うな、素晴らしい動物たちをもっとたくさん知りたい、研究したいと思い、動物学者という夢を掲げました。その後の六年生の卒業文集でも、その時の考えを素直に書き起こしました。ずっと自分の心の内にあつたけど、なぜか自分で気付かなかったようなものがやっと吐き出せた、そんな気もしてどこかスッキリしました。家族や学校の先生も、自分の夢を応援してくれたのがとても嬉しかったです。応援してくれた皆のためにも、この思いは絶対に変えないと心に決めました。

皆さんは動物学者というものになるために、どのような道を辿らなければならぬのかご存知ですか。実は、それは簡単と言うには程遠いもののなのです。まず、私は現在中学三年生ですが、最初に高校受験が待ち受けています。そこで高校生活を送った後は、さらに大学受験が待ち構えているのです。自分が研究したいことが十分に学べる大学を、慎重に選んでいきたいと思っています。その大学で動物学を学び、卒業後は大学院に進んで、そこでさらに深く学んで研究し、最後は論文を書いて博士号をとります。これが、一般的に動物学者と呼ばれる職に就くための、主な道のりです。ここまでの道のりを経るのに、今から約十二年以上はかかります。また、必要ないくつもの試験や審査は、難易度がとても高くなっています。

この道のりを聞いて、動物学者になるなんて無理じゃないか、と思った方もい

るかもしれません。実際、私も初めて知ったときはそう思いました。調べると、この目標を途中で諦めてしまう人も多いそうです。知れば知るほど、自分の目指しているものがどれほど大変なのか思い知らされ、打ちのめされそうになりました。しかし、私は絶対に諦めません。まだ不可能だと決まったわけではありません。いつまでも夢を諦めず、努力を怠らなければ、必ず達成することができると思います。逆に、自分を甘やかし、努力を怠ってしまえばいつまでも叶えられないと思います。つまり、努力こそが、私の夢を叶えるための鍵となるのです。

私はこの夢をいつまでも、何があろうとも、絶対に諦めない気です。そのためにも、努力も一切怠らず、むしろ加速していくように努力を続けていきます。そして、いつの日か、動物学者という職に就けることを願っています。

(原文のまま掲載しています。)